

## 施策 232 結婚・妊娠・出産の支援

【主担当部局：健康福祉部子ども・家庭局】

### 県民の皆さんとめざす姿

結婚・妊娠・出産の希望がかなう地域社会の実現に向けて、社会全体で結婚や家族形成を希望する人を応援する取組が進んでいます。また、不妊に悩む夫婦の負担が軽減され、妊産婦やその家族が安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりが進んでいます。

### 平成 31 年度末での到達目標

市町や関係団体と連携が図られ、結婚・妊娠・出産の希望がかなう地域社会の実現に向けた取組が進んでいます。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談窓口が整備されている市町数		26 市町		27 市町		29 市町
	24 市町					
目標項目の説明	子育て世代包括支援センター等、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談窓口が整備されている市町数					
29 年度目標値の考え方	平成 31 年度には全ての市町で切れ目のない妊産婦・乳幼児への母子保健対策（ポピュレーションアプローチ）を行えるよう、平成 29 年度目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
23201 出逢いの支援（健康福祉部子ども・家庭局）	出逢いの場の情報提供数		180 件		200 件		240 件
		125 件					
23202 不妊に悩む家族への支援（健康福祉部子ども・家庭局）	県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数		13 市町		16 市町		20 市町
		10 市町					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実（健康福祉部 子ども・家庭局）	妊娠届出時等に医療機関と情報提供等の連携をした市町数		26 市町		27 市町		29 市町
		25 市町					

## 現状と課題

- ①未婚者の結婚していない理由として、「出逢いがない」、「理想の相手に出逢えていない」が上位を占めていることから、結婚を希望する人に「みえ出逢いサポートセンター」が中心となって情報提供を行っています。今後もさまざまな出逢いの機会に関する情報提供が必要です。  
また、20～30歳代の未婚の8～9割の人が結婚を希望しているにも関わらず、未婚率は年々上昇し、晩婚化も進んでいることから、若い世代が結婚に希望を持てるよう、市町や企業等が行う結婚支援の取組を活性化し、社会全体で結婚を希望する人を応援していく機運を一層高めることが必要となっています。
- さらに、25～39歳の未婚者の約7割が企業で働いていることや、職場や仕事の関係での出逢いが多いという状況から、今後より一層、企業と連携した取組が必要となっています。
- ②子どもを望む夫婦の経済的負担や精神的負担の軽減を図るため、特定不妊治療費および男性不妊治療費等への助成事業を行っています。また、不妊専門相談センターにおいて電話相談・面接相談を行っています。不妊や不育症に悩む家族を支援するため、県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町を拡大していくことが必要です。
- ③各市町において、妊娠・出産から育児に至るまでの間、切れ目なく母子保健サービスが提供されるよう、三重県独自の出産・育児支援体制である「出産・育児まるっとサポートみえ」（三重県版ネウボラ）により、産後ケア事業を行う市町への補助（10市町）や母子保健コーディネーターの育成、母子保健体制構築アドバイザーの市町訪問による、市町の母子保健体制構築の支援を行っています。引き続き、各市町の実情に応じた支援を行う必要があります。
- ④妊娠届出時のアンケートの活用により、医療機関と保健分野との連携体制の強化を図り、特定妊婦の早期把握、早期支援につなげています。引き続き、妊娠届出時のアンケートの活用により、妊娠早期からの相談・指導体制の充実を図っていく必要があります。

## 平成 29 年度の取組方向

- ①結婚を望む人に対し、出逢いの場の情報提供を進めるため、引き続き「みえ出逢いサポートセンター」が中心となって「出逢い支援」に係る普及啓発や市町等の取組への支援を進めます。  
また、県全体で効果的な結婚支援の取組を進めるため、市町との連携を強化します。  
さらに、社会全体で結婚を望む人を支援する地域づくりを進めるため、総合的な結婚支援の取組を推進し、特に企業、団体などが行う結婚支援の取組を活性化させます。
- ②特定不妊治療費および男性不妊治療費の助成や不妊相談センターにおける電話相談・面接相談を実施するとともに、県独自の不妊治療助成事業に取り組む市町が拡大するよう、市町への働きかけを行います。また、不妊・不育症に関する講演会や交流会を行います。

- ③各市町において、妊娠・出産から育児に至るまでの間、切れ目なく母子保健サービスが提供されるよう、各市町の実情に応じた母子保健体制の構築に向けた支援を行います。
- ④「妊娠届出時アンケート評価会議」においてアンケートの分析、評価を行うことにより、医療機関と保健分野との連携体制の強化を図り、特定妊婦の早期把握、早期支援につなげていきます。

## 主な事業

- ①（一部新）みえの出逢い支援事業【基本事業名：23201 出逢いの支援】  
予算額：(28) 6,925千円 → (29) 143,758千円  
事業概要：「みえ出逢いサポートセンター」における出逢いイベント等の情報提供を行うとともに、市町や企業と連携して、総合的な結婚支援に取り組みます。
- ②不妊相談・治療支援事業【基本事業名：23202 不妊に悩む家族への支援】  
予算額：(28) 549,249千円 → (29) 496,570千円  
事業概要：特定不妊治療および男性不妊治療への助成、特定不妊治療の上乗せ助成、第2子以降の不妊治療、不育症治療や一般不妊治療（人工受精）への助成を行います。また、「不妊専門相談センター」において不妊や不育症に関する相談や、治療に関する情報提供を行います。
- ③出産・育児まるっとサポートみえ推進事業  
【基本事業名：23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実】  
予算額：(28) 4,467千円 → (29) 4,086千円  
事業概要：各市町の実情に応じた母子保健体制の整備に向け、母子保健活動の核となる人材の育成、事業推進のための情報交換会、研修会を実施するとともに、妊娠届出時アンケートの評価等を通じた関係機関との連携強化、母子保健体制構築アドバイザーによる各市町の現状分析や情報提供等を行い市町を支援します。
- ④産後ケア事業【基本事業名：23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実】  
予算額：(28) 2,100千円 → (29) 1,723千円  
事業概要：産院退院後の支援が必要な産婦に対し、助産所または医療機関の空きベッドを活用し、宿泊、日帰りまたは訪問により、産婦の心身のケアや育児サポート等を行う市町への助成を行います。